

秋の七草で有名です。

< 植物名 >

ダイアンサス
カラナデシコ

水やり

用土の表面が乾いてから水やりをする。

置き場所

日当たりと、水はけのよい場所に置く。過湿を嫌う。

用土肥料

肥料は控えめに与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

タネまき、株分け、挿し木

冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え

学名 Dianthus superbus var. longicalycinus

英名

属名 ナデシコ

科名 ナデシコ

性状(分類) 常緑多年草

原産地 ヨーロッパ、地中海沿岸、アジア、熱帯、南アフリカ

花の色 淡紅色

開花期 3～12月

購入時期

草丈 30～80cm

ID 520

季節 春 夏 秋 冬

JFコード 14189



冬越しと置き場所

日当たりと、水はけのよい場所に置く。過湿を嫌う。

その他の解説

株が密になると、蒸れたり、株元への日当たりが悪くなる。花後は全体を切り戻し、株分けもこまめにするとよい。肥料は控えめに与える。

特徴1

ヨーロッパや地中海沿岸に分布する常緑多年草。カラナデシコは、秋の七草の一つ。日本全土の山野、川原に見られる。

特徴2

秋の七草の一つで、日本全土の山野、川原に普通に見られる。‘大和撫子’という言葉があるように、日本とは馴染みの深い花。ヨーロッパでは、ロックガーデンを彩る花として親しまれている。茎にやや肥厚した節があり、その上の方の節から数本の細かい側枝を出して、秋に淡紅色の花を咲かせる。3～4対ある苞の先はとがり、花卉の縁は糸状になっている。